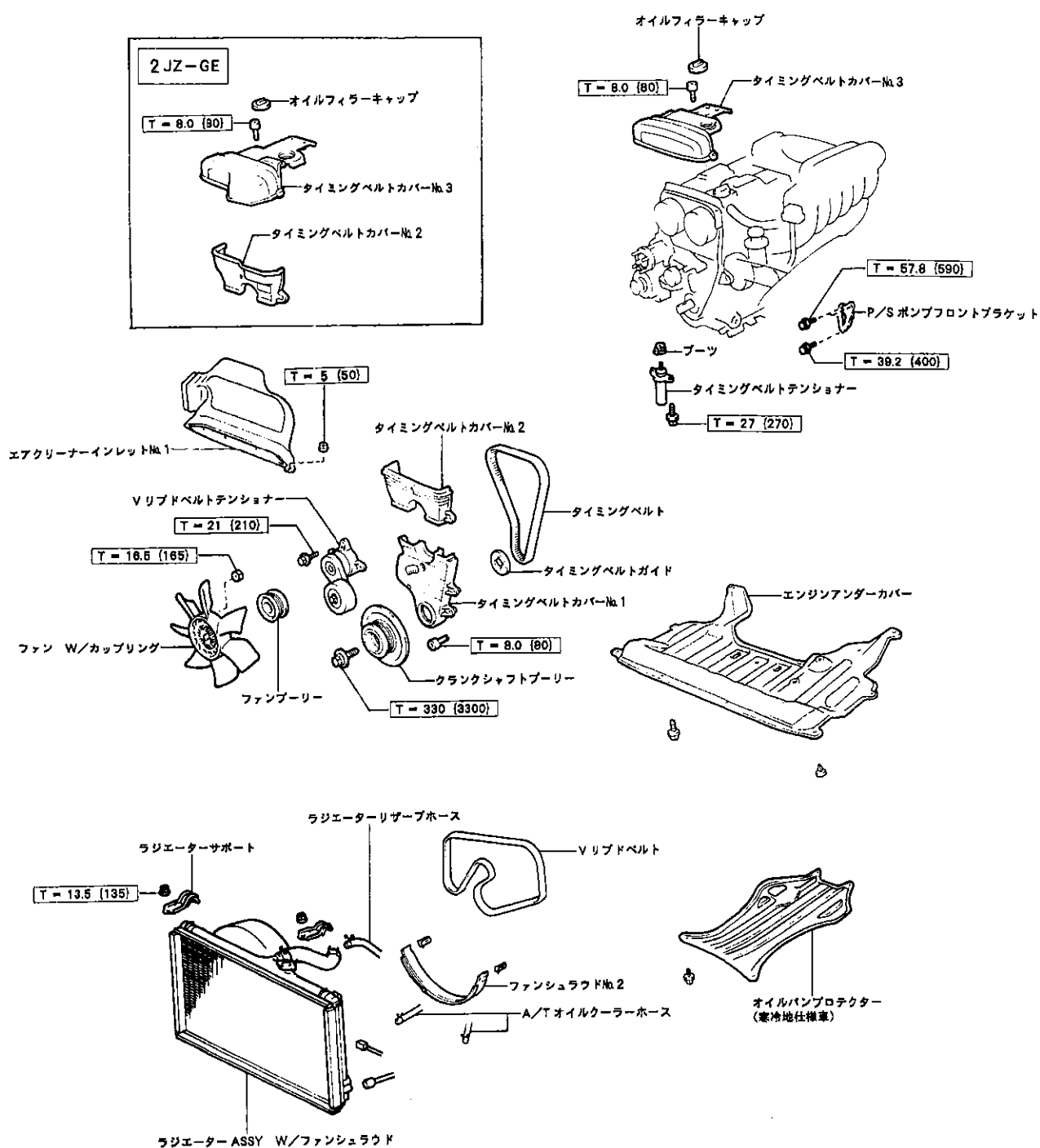


タイミングベルト

脱着構成図

2

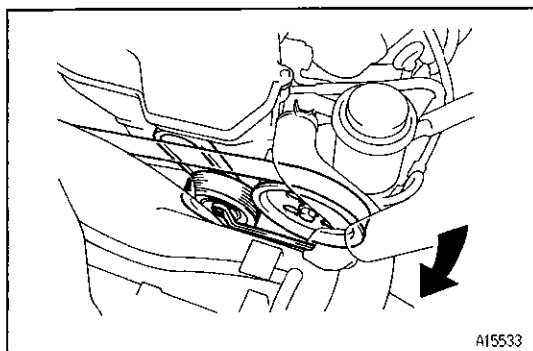


.....締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]

タイミングベルト取りはずし

- 1 冷却水抜き取り
- 2 オイルパンプロテクター取りはずし（寒冷地仕様車）
- 3 エンジンアンダーカバー取りはずし
- 4 エアクリーナーインレットNo.1 取りはずし

2

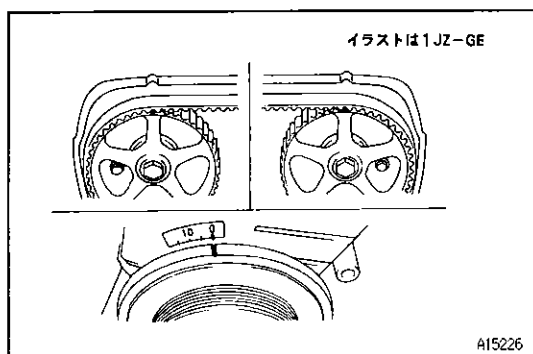


5 V リブドベルト取りはずし

- (1) テンショナーのプーリーセットボルトにオフセットレンチ（14 mm）を掛けテンショナープーリーを左に移動させて張力をゆるめベルトを取りはずす。

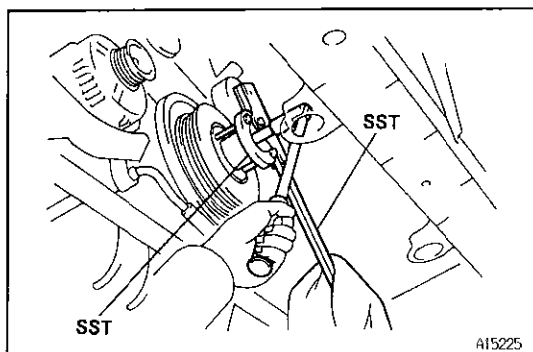
〈参考〉 ベルト取りはずし後はテンショナープーリーが右方向に最大量移動するので、オフセットレンチのセット位置を出来るだけ下側にする。

- 6 ファンシュラウドNo.2 取りはずし
- 7 ラジエーター ASSY W/ ファンシュラウド取りはずし
- 8 ファン W/ カップリング取りはずし
- 9 タイミングベルトカバーNo.3 およびNo.2 取りはずし
 - (1) 六角棒レンチ（二面幅5 mm）を使用して、ボルト9本をはずしカバーNo.3 およびNo.2 を取りはずす。
- 10 V リブドベルトテンショナー取りはずし



11 クランクシャフトプーリー取りはずし

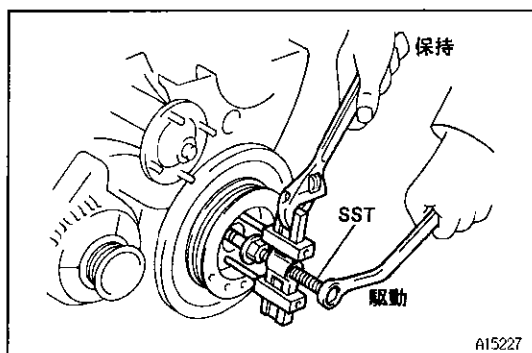
- (1) クランクシャフトを右回転させ、No.1 シリンダーを圧縮上死点にする。



- (2) SSTを使用して、クランクシャフトプーリーセットボルトを取りはずす。

S S T 09213-70010 09330-00021 90105-08076

- (3) クランクシャフトに準備品のボルト（90119-18001：M18×P 1.5）を取り付ける。



(4) SSTを使用して、クランクシャフトプーリーを取りはずす。

S S T 09951-05010 09952-05010 09953-05020
09954-05030

注意 SSTのセンターボルトのねじ部および先端部に油脂類を塗布して使用する。

(5) 準備品のボルト (90119-18001: M18×P1.5) を取りはずす。

2

12 P/S ポンプフロントブラケット取りはずし

13 タイミングベルトカバーNo.1 取りはずし

14 タイミングベルトガイド取りはずし

15 タイミングベルトテンショナー取りはずし

(1) ボルト2本を均等にゆるめ、テンショナーを取りはずす。

16 タイミングベルト取りはずし

(1) タイミングベルト背面にチョークなどで回転方向を明示する。

〈参考〉 再使用時にタイミングベルトの当たりを変えない。

(2) タイミングベルトを各プーリーから取りはずす。

タイミングベルト取り付け前点検

1 タイミングベルトアイドラー点検

(1) タイミングベルトアイドラーを手で回転させ、滑らかに回転することを確認する。

(2) シール部にグリースが飛散していないことを確認する。

取り付け作業上の留意点

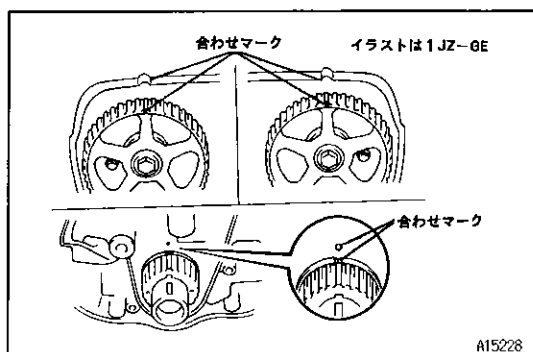
- 注意**
- ・タイミングベルトおよび各プーリーに、水およびオイルなどの付着が認められた場合は、漏れまたは侵入箇所を修理し、新品のタイミングベルトを取り付ける。
 - ・各プーリーは取り付け前に、必ず汚れをウエスなどで拭き取る。(洗浄してはならない)

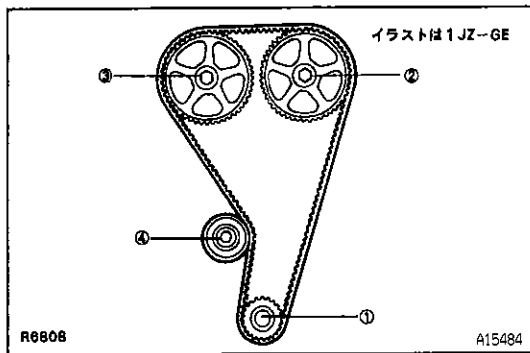
1 タイミングベルト取り付け

(1) 以下の手順で取り付ける。

① カムシャフトタイミングプーリーとタイミングベルトカバーNo.4の合わせマークが合っていることを確認する。

② クランクシャフトタイミングプーリーとオイルポンプの合わせマークが合っていることを確認する。





③ タイミングベルトの回転方向を確認して、図の順序で各プーリーにタイミングベルトを組み付ける。

注意 クランクシャフト、IN カムシャフト、EX カムシャフトの各プーリー間は、ベルトにたるみがないように組み付ける。

2 タイミングベルトテンショナー取り付け

(1) 以下の手順で取り付け。

- ① タイミングベルトテンショナーのブーツを取りはずす。
- ② タイミングベルトテンショナーをまっすぐプレスにセットする。
- ③ タイミングベルトテンショナーのロッドをできるだけゆっくりに圧縮し、ロッドとシリンダーの穴を合わせ、二面幅 1.27mm の六角棒レンチをロッドおよびシリンダーに貫通させる。

注意 ・ロッドの荷重は 9.8kN (1000kgf) 以上加えない。
・ブーツ取り付けの際、ブーツを傷つける可能性があるため、六角棒レンチ先端をシリンダーより突き出させない。

〈参考〉 ロッドとシリンダーの穴を合わせる場合、プレスで圧縮する過程に六角棒レンチをシリンダーに挿入し、ロッドの穴を確認する。

- ④ 圧縮をゆるめ、タイミングベルトテンショナーをプレスから取りはずす。
- ⑤ ブーツをテンショナーに取り付ける。
- ⑥ 六角棒レンチの取り付けいたタイミングベルトテンショナーをオイルポンプの取り付け位置に組み付け、ボルト 2 本を均等に締め付ける。

注意 タイミングベルトテンショナーが傾いて取り付けると正常に機能しないので、ボルトは必ず均等に締め付ける。

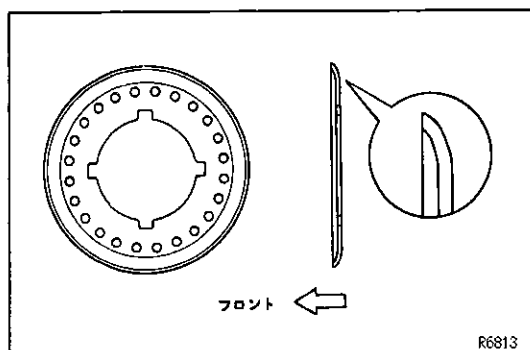
- ⑦ ⑥の状態ではオイルポンプとブーツ間にすき間がないことを確認する。

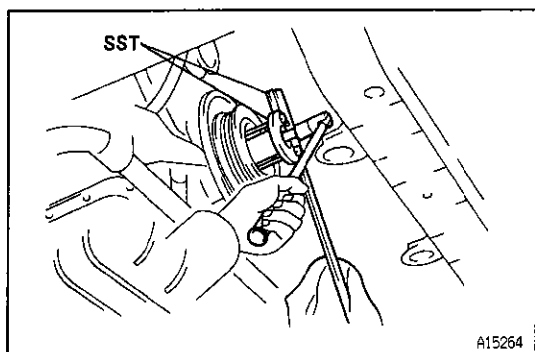
注意 すき間がある場合、水入りの原因となるため、再度⑤、⑥の作業を行う。

- ⑧ タイミングベルトテンショナーのロッド固定用六角棒レンチを引き抜いて取りはずす。
- ⑨ クランクシャフトプーリーボルトをワッシャーなどを介して仮り付けし、クランクシャフトを正回転方向に 2 回転させ、クランクシャフトタイミングプーリーとオイルポンプの合わせマークを合わせたとき、カムシャフトタイミングプーリーとタイミングベルトカバー No. 4 の合わせマークが一致していることを確認する。
- ⑩ クランクシャフトプーリーボルトおよびワッシャーを取りはずす。

3 タイミングベルトガイド取り付け

注意 ベルトガイドは図の向きに取り付ける。





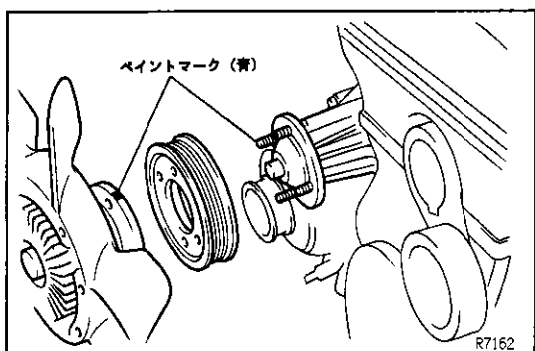
4 クランクシャフトプーリー取り付け

- (1) クランクシャフトプーリーは、SSTを使用して取り付ける。

S S T 09213-70010 09330-00021 90105-08076

5 タイミングベルトカバーNo.2およびNo.3取り付け

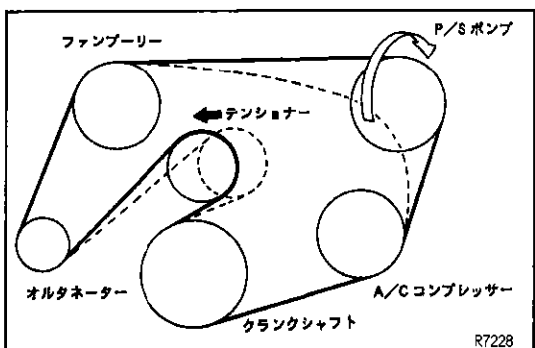
- (1) 六角棒レンチ（二面幅5mm）を使用して、タイミングベルトカバーNo.2およびNo.3を取り付ける。



6 ファン W/ カップリング取り付け

- (1) ウォーターポンプのスタッドボルト先端およびカップリングシャフト面の合わせマーク（青色）を合わせて取り付ける。

〈参考〉 図は1JZ-GEのため2JZ-GEとは異なる。



7 Vリブドベルト取り付け

- (1) 以下の手順で取り付ける。

① P/S ポンププーリー以外にベルトを掛ける。

注意 テンショナープーリーはベルトの背面側に掛ける。

② テンショナーのプーリーセットボルトにオフセットレンチ（14mm）を掛け、テンショナーを左へ移動させる。

③ ②の状態ではP/S ポンププーリーにベルトを掛ける。

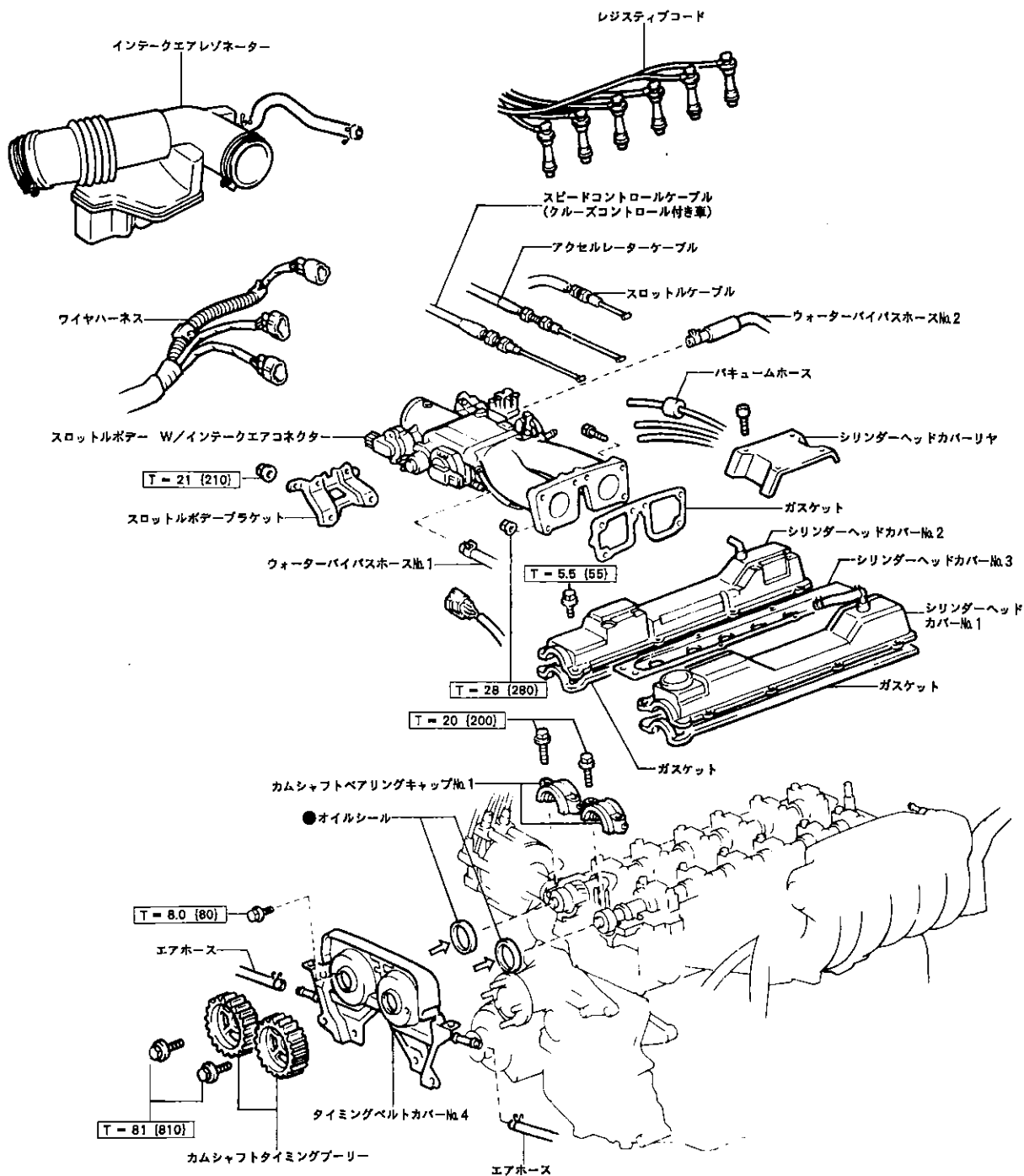
注意 各プーリーのベルトが正しくセットされていることを確認する。

カムシャフトオイルシール

脱着構成図

2

1 JZ-GE



⇐.....キヤッスル・MP グリース塗布

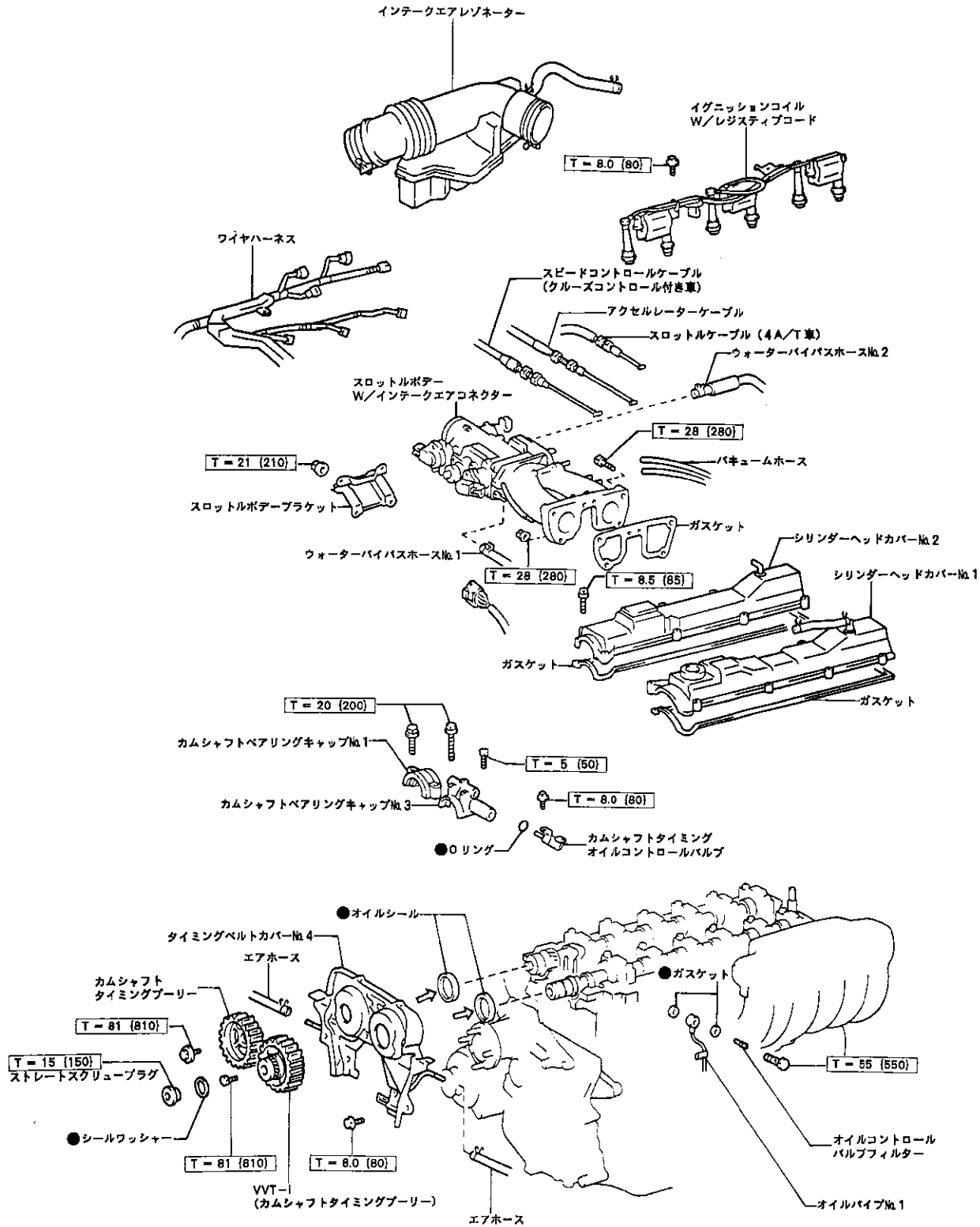
●.....再使用不可部品

□.....締め付けトルク [N·m {kgf·cm}]

A15298

2 JZ-GE

2



⇐.....キヤッスル・MP グリース塗布

●.....再使用不可部品

[].....締め付けトルク [N・m (kgf・cm)]

脱着作業上の留意点

1 タイミングベルト脱着

(「エンジン本体」—「タイミングベルト」参照)

2 シリンダーヘッドカバーNo. 1, No. 2 脱着

(「エンジン調整」—「バルブクリアランス点検調整」参照)

3 オイルパイプNo. 1 切り離し (2 JZ-GE)

4 カムシャフトタイミングプーリー取りはずし

- (1) カムシャフトのサービス用六角部を使用して、カムシャフトを固定し、セットボルトをはずして、カムシャフトタイミングプーリーを取りはずす。

5 VVT-i (カムシャフトタイミングプーリー) 取りはずし

注意 ・図に示す5本のボルトは、タイミングプーリー内ギヤのバッククラッシュを決定するものであるため、絶対に取りはずさない。

取りはずした場合は、カムシャフトタイミングプーリー ASSY で交換する。

・ストレートスクリュープラグ取りはずし時、オイルがタイミング系部品にこぼれる恐れがあるため、必ず手順に従い作業を行う。

- (1) 以下の手順で取りはずす。

- ① ボルトをはずし、カムシャフトタイミングオイルコントロールバルブを取りはずす。
- ② VVT-i を可変範囲内〔30° (60°CA)〕で左右に2～3回往復させ、VVT-i 内のオイルを、カムシャフトタイミングオイルコントロールバルブ取り付け穴よりウエス等で受ける。

注意 約 20mL のオイルが吐出するため、オイルをこぼさない。

- ③ ストレートヘキサゴンレンチ 14 を使用して、ストレートスクリュープラグおよびシールワッシャーを取りはずす。

注意 少量のオイルがこぼれることがあるため、ウエスをプラグ下側にあてた状態で作業を行う。

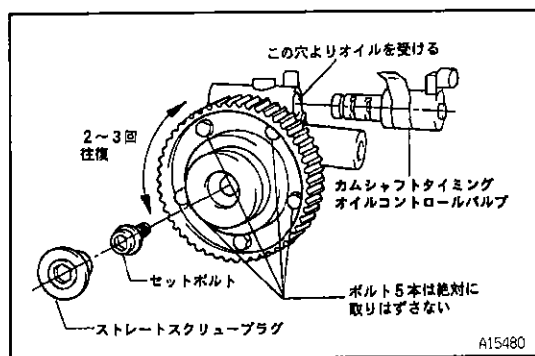
- ④ カムシャフトのサービス用六角部を使用して、カムシャフトを固定し、ソケットヘキサゴンレンチ 10 でセットボルトをはずし、VVT-i を取りはずす。

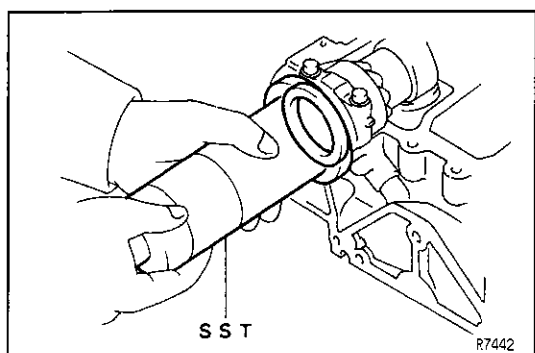
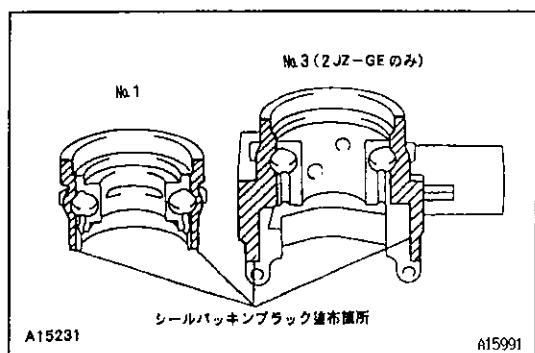
6 カムシャフトオイルシール交換

- (1) 新品のオイルシールのリップ部に少量のキャッスル・MP グリースNo. 2 を塗布し、リップ部側からカムシャフトに挿入する。

注意 ・リップを反転させない。

・シリンダーヘッド最深部まで確実に挿入する。





7 カムシャフトベアリングキャップNo. 1 およびNo. 3 取り付け (No. 3 は 2 JZ-GE のみ)

(1) 以下の手順で取り付ける。

① カムシャフトベアリングキャップの図の箇所にシールバッキンブラックを ($\phi 2\text{mm}$) 塗布する。

- 注意**
- ・シールバッキン塗布箇所および取り付け面は脱脂する。
 - ・シールバッキン塗布後 5 分以内に取り付けする。
 - ・組み付け後 2 時間以内はエンジンを始動しないで放置する。
 - ・シールバッキンは $\phi 2\text{mm}$ 以上塗布しない。

② ソケットヘキサゴンレンチ 5 を使用して、カムシャフトベアリングキャップ No. 3 を取り付ける。(2 JZ-GE)

③ SST を使用して、オイルシールをシリンダーヘッド最深部に押し入れる。

S S T 09316-00011 09316-00051

注意 SST を強くたたかない。

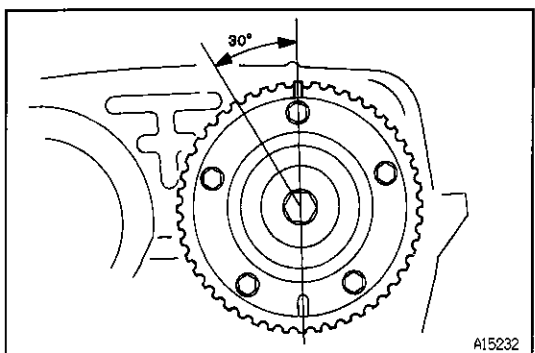
8 オイルパイプNo. 1 取り付け (2 JZ-GE)

(1) ユニオンボルトにオイルコントロールバルブフィルターを取り付け、新品のガスケットを両側に介して、ユニオンボルトを締め付ける。

9 VVT-i (カムシャフトタイミングプーリー) 取り付け (2 JZ-GE)

(1) 以下の手順で取り付ける。

- ① カムシャフトのストレートピンと VVT-i 取り付け穴を合わせ、底付き感があるまで VVT-i を手で押し込む。
- ② カムシャフトのサービス用六角部を使用して、カムシャフトを固定し、ソケットヘキサゴンレンチ 10 でセットボルトを取り付ける。
- ③ VVT-i 外周が軽く 30° の範囲で回転することを確認する。
- ④ シールワッシャーを介して、ストレートスクリーブプラグをストレートヘキサゴンレンチ 14 を使用して、セットボルトに取り付ける。



10 カムシャフトタイミングプーリー取り付け

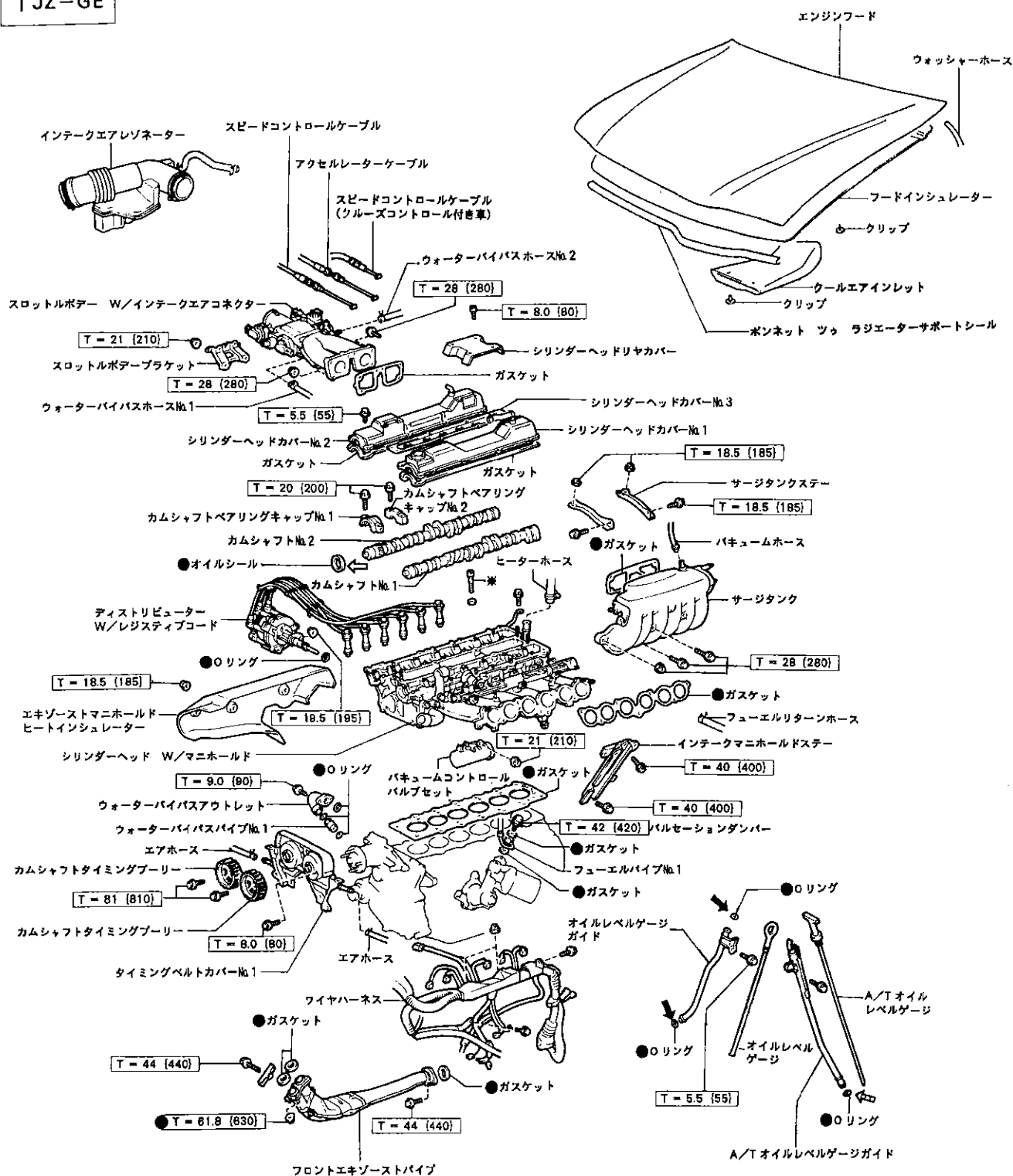
(1) セットボルトは、カムシャフトのサービス用六角部を利用してカムシャフトを固定し、取り付ける。

シリンダーヘッドガスケット

脱着構成図

2

1 JZ-GE



※……塑性域締め付け法 ←……キヤッスル・MP グリース塗布

◆……キヤッスル・オートフルード D-II 塗布

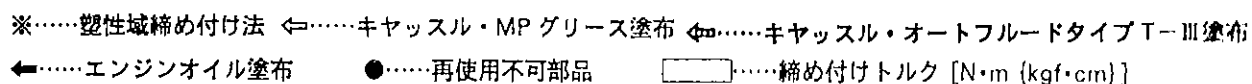
←……エンジンオイル塗布

●……再使用不可部品

.....締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]

A15301

2



シリンダーヘッドガスケット取りはずし

1 燃料流出防止作業

(「EFI システム」—「燃料流出防止作業」参照)

2 ボンネット ツウ ラジエーターサポートシール取りはずし

3 クールエアインレット取りはずし

4 フードインシュレーター取りはずし

(1) クリップリムーバーを使用して、クリップをはずし、フードインシュレーターを取りはずす。

5 ウォッシャーホース切り離し

6 エンジンフード取りはずし

7 タイミングベルト取りはずし

(「エンジン本体」—「タイミングベルト」参照)

8 インテークエアレゾネーター取りはずし

9 シリンダーヘッドカバーNo.1, No.2取りはずし

(「エンジン調整」—「バルブクリアランス点検, 調整 1」参照)

10 ディストリビューター W/レジスティブコード取りはずし
(1 JZ-GE)11 イグニッションコイル W/レジスティブコード取りはずし
(2 JZ-GE)

12 エキゾーストマニホールドヒートインシュレーター取りはずし

13 ウォーターバイパスアウトレットおよびウォーターバイパスパイプNo.1取りはずし

14 オイルレベルゲージおよびガイド取りはずし

15 A/T オイルレベルゲージおよびガイド取りはずし

16 インテークマニホールドステー取りはずし

17 フューエルパイプNo.1 切り離し

(1) フューエルパイプNo.1 およびガスケット 2 個を取りはずす。

18 フューエルリターンホース切り離し。

19 ヒーターホース切り離し

20 フロントエキゾーストパイプ取りはずし

21 バキュームホース切り離し

22 サージタンクステー取りはずし (1 JZ-GE)

23 サージタンク取りはずし

24 バキュームコントロールバルブセット取りはずし

25 ワイヤハーネス取りはずし

26 オイルパイプNo.1 切り離し (2 JZ-GE)

27 マニホールドステーNo.2取りはずし (2 JZ-GE)

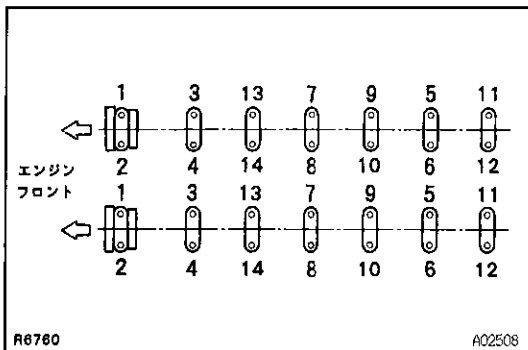
28 カムシャフトタイミングプーリー取りはずし

(1) カムシャフトのサービス用六角部を使用して、カムシャフトを固定し、セットボルトをはずし、カムシャフトタイミングプーリーを取りはずす。

29 VVT-i (カムシャフトタイミングプーリー) 取りはずし
(2 JZ-GE)

(「エンジン本体」—「カムシャフトオイルシール」—「脱着作業上の留意点 5」参照)

30 タイミングベルトカバーNo.4取りはずし



31 カムシャフト取りはずし

- (1) 図の順序で、カムシャフトベアリングキャップを左右均等に数回に分けてゆるめる。
- (2) カムシャフトベアリングキャップを取りはずす。
- (3) カムシャフトをはずし、オイルシールを取りはずす。

2

32 シリンダーヘッド取りはずし

- (1) シリンダーヘッド脱着には、エンジンハンガーNo.1が準備品として必要となる。

エンジンハンガーNo.1 12281-46050

ボルト 90105-10345

 $T=40N \cdot m$ {408kgf·cm}

〈参考〉 エンジンハンガーNo.1は、シリンダーヘッドに取り付ける。

- (2) ダブルヘキサゴンレンチ(10mm)を使用して、シリンダーヘッドボルトを図の順序で数回に分けて均等にゆるめ、取りはずす。
- (3) エンジンスリングデバイスをエンジンハンガーに取り付け、チェーンブロックを使用してシリンダーヘッドを取りはずす。
- (4) ガスケットを取りはずす。

取り付け前点検

1 シリンダーヘッドボルト点検

- (1) ノギスを使用して、図の箇所のシリンダーヘッドボルト外径を測定する。

基準値 10.8~11.0mm

限度 10.7mm

取り付け作業上の留意点

1 シリンダーヘッド取り付け

注意 ・シリンダーヘッド下面およびシリンダーブロック上面は洗浄を行う

・⑥、⑦、⑧シリンダーヘッドボルトの締め付けは、図の順序で締め付ける。

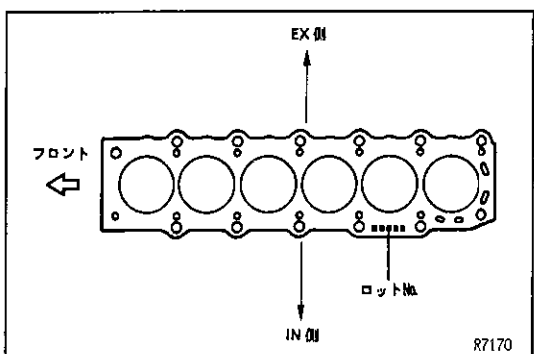
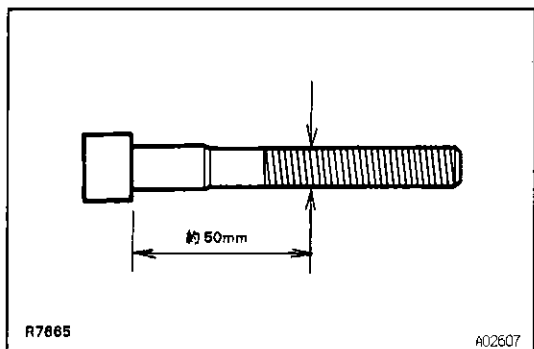
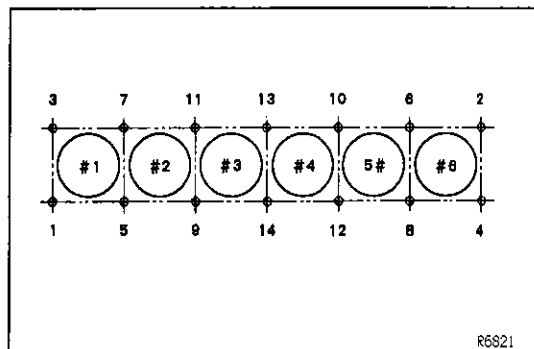
・シリンダーヘッドボルトは、塑性域締め付け法で締め付ける。

- (1) 以下の手順で取り付ける。

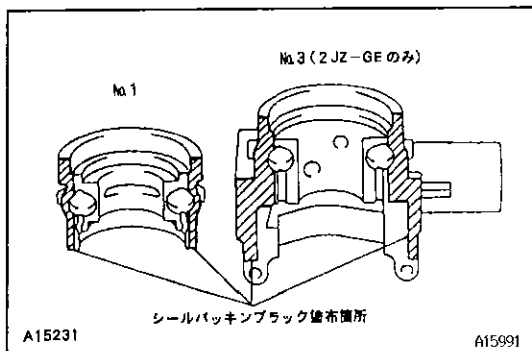
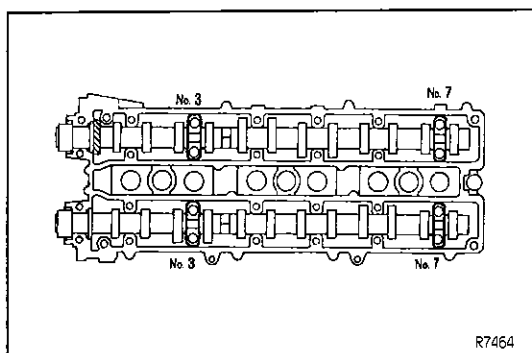
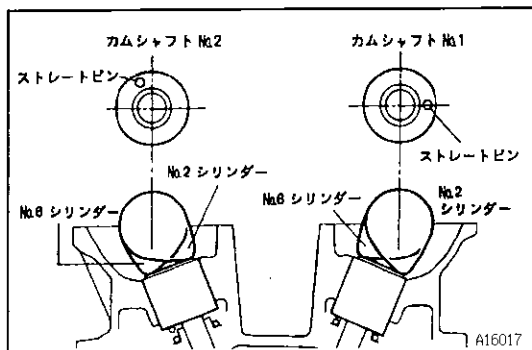
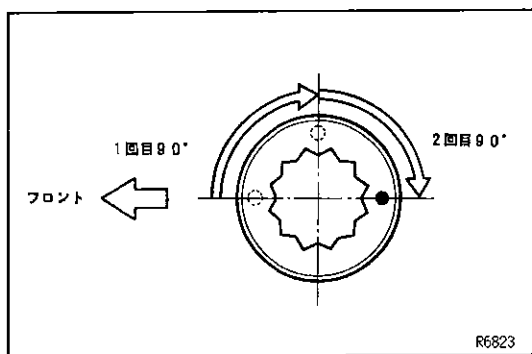
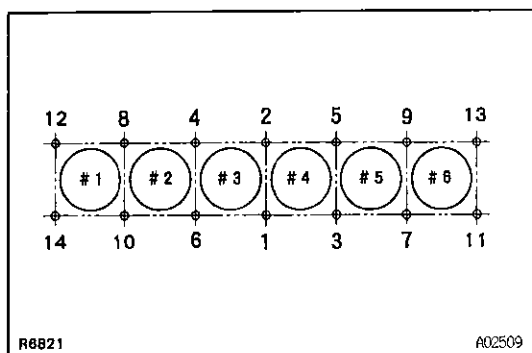
① 新品のヘッドガスケットのロットNoをシリンダーヘッド側に向け図のようにシリンダーブロックに取り付ける。

注意 ・ガスケット表面のコーティングを傷つけない。

・ガスケットの上下間に異物を混入させない。



2



- ② シリンダーヘッドをシリンダーブロックに取り付ける。
- ③ ボルトのねじ部と座面およびワッシャーに少量のエンジンオイルを塗布する。
- ④ ボルトにワッシャーを組み付けてシリンダーヘッドに挿入する。
- ⑤ ダブルヘキサゴンレンチ（10mm）を使用して、ヘッドボルト 14 本を図の順序で 2～3 回に分けて仮締め後、規定トルクで締め付ける。
 $T=34.32\text{N}\cdot\text{m}$ {350kgf・cm}
- ⑥ シリンダーヘッドボルト頭部のエンジンフロント側にペイントマークを付ける。
- ⑦ ペイントマークを目安にして、各ヘッドボルトを 90° 締め付ける。
- ⑧ さらに各ヘッドボルトを 90° 増し締めする。
- ⑨ ペイントマークがエンジンリヤ側にあることを確認する。

2 カムシャフト取り付け

(1) 以下の手順で取り付ける。

- ① カムシャフトのジャーナル部および軸受けにエンジンオイルを塗布する。
- ② カムシャフト No. 1, No. 2 の No. 2, No. 6, シリンダーカムノーズおよびカムシャフト前側のストレートピンを図の位置にして、シリンダーヘッドに軽くのせる。
- ③ 無理な力を加えないでカムシャフト No. 1, No. 2, をフロント側に軽く押し付ける。
- ④ ボルトのねじ部に少量のエンジンオイルを塗布する。
- ⑤ No. 3 および No. 7 ジャーナルのカムシャフトベアリングキャップを取り付け、キャップがシリンダーヘッドの合わせ面が合うがまだ数回に分け均等に仮締めし、カムシャフトをスムーズに沈み込ませる。

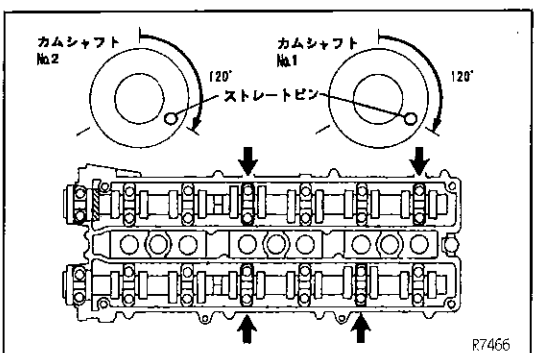
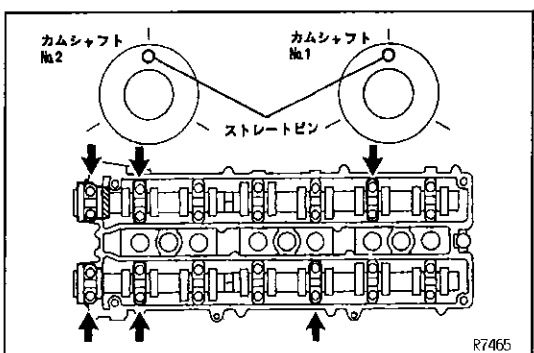
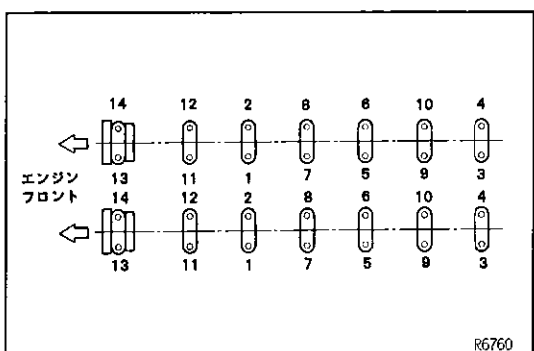
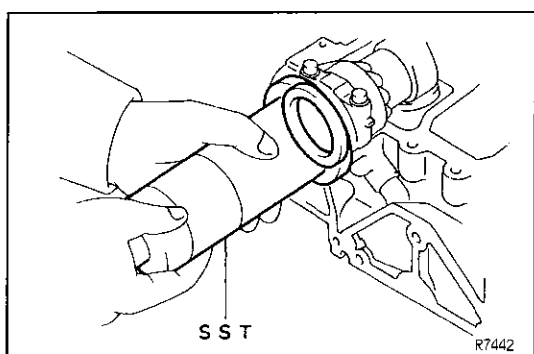
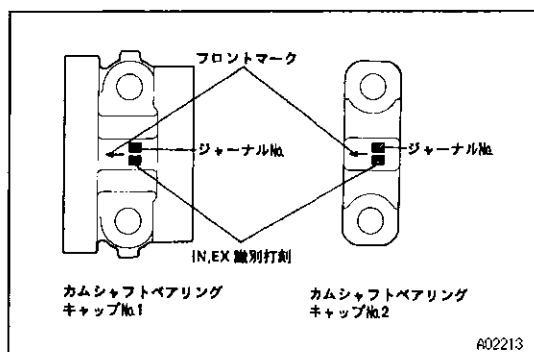
〈参考〉 図は 1JZ-GE のため 2JZ-GE とは異なる。

- ⑥ 新品のオイルシールリップ部にキヤッスル・MP グリース No. 2 を塗布し、リップ部側からカムシャフトに挿入する。

注意 リップを反転させない。

- ⑦ カムシャフトベアリングキャップ No. 1 および No. 3 の図の箇所 にシールパッキンブラックを（φ 2mm）塗布する。（No. 3 は 2 JZ-GE のみ）

- 注意**
- ・シールパッキン塗布箇所を脱脂する。
 - ・シールパッキン塗布後 5 分以内にに取り付ける。
 - ・シールパッキンがベアリングキャップ内面にはみ出さないよう塗布する。
 - ・組み付け後 2 時間以内はエンジンを始動させないで放置する。
 - ・シールパッキンは φ 2mm 以上塗布しない。



⑧ 残りのカムシャフトベアリングキャップを取り付ける。

注意 ベアリングキャップの組み付け方向および取り付け位置を間違えない。

〈参考〉 ベアリングキャップ上部識別打刻

IN 側 ベアリングキャップNo.1.....I1 (1 JZ-GE)

ベアリングキャップNo.2.....I2~I7

EX 側 ベアリングキャップNo.1.....E1

ベアリングキャップNo.2.....E2~E7

⑨ ボルトのねじ部に少量のエンジンオイルを塗布する。

⑩ カムシャフトベアリングキャップを均等に仮り締める。

⑪ SST を使用して、オイルシールをシリンダーヘッドに最深部に押し込む。

SST 09316-00011 09316-00051

注意 オイルシールをたたき込まない。

⑫ 図の順序で、3回に分けて規定トルクで締め付ける。

〈参考〉 図は1 JZ-GE のため2 JZ-GE とは異なる。

⑬ カムシャフトNo.1, No.2のサービス用六角部を使用して、カムシャフト前側のストレートピンを真上にする。

⑭ 図の位置のベアリングキャップのボルト2本を手で回る程度までゆるめ、再度3回に分けて締め付ける。

⑮ ソケットヘキサゴンレンチ5を使用して、ベアリングキャップNo.3のリヤ側のボルト2本を締め付ける。

注意 ・ボルトはゆるめ過ぎない。

・ゆるめ締めは各ベアリングキャップ毎に行う。

〈参考〉 図は1 JZ-GE のため2 JZ-GE とは異なる。

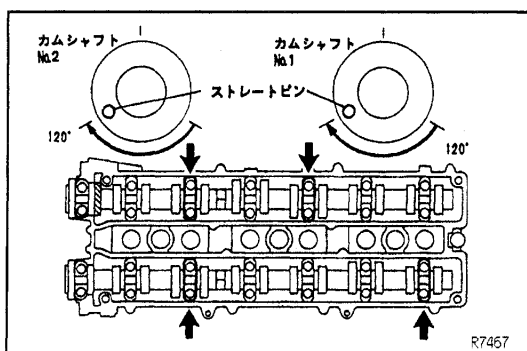
⑯ カムシャフトを正回転方向に120°回転させる。

⑰ 図の位置のベアリングキャップのボルト2本を手で回る程度までゆるめ、再度3回に分けて締め付ける。

注意 ・ボルトはゆるめ過ぎない。

・ゆるめ締めは各ベアリングキャップ毎に行う。

〈参考〉 図は1 JZ-GE のため2 JZ-GE とは異なる。



⑱ カムシャフトを正回転方向さらに120°回転させる。

⑲ 図の位置のベアリングキャップのボルト2本を手で回る程度までゆるめ、再度3回に分けて締め付ける。

注意 ・ボルトはゆるめ過ぎない。

・ゆるめ締めは各ベアリングキャップ毎に行う。

〈参考〉 図は1JZ-GEのため2JZ-GEとは異なる。

3 オイルパイプNo.1 取り付け (2JZ-GE)

(1) ユニオンボルトにオイルコントロールバルブフィルターを取り付け、新品のガスケットを両側に介して、ユニオンボルトを締め付ける。

4 VVT-i (カムシャフトタイミングプーリー) 取り付け (2JZ-GE)

(「エンジン本体」—「カムシャフトオイルシール」—「脱着作業上の留意点 9」参照)

5 カムシャフトタイミングプーリー取り付け

(1) セットボルトは、カムシャフトのサービス用六角部を使用してカムシャフトを固定し、取り付ける。

6 タイミングベルト取り付け

(「エンジン本体」—「タイミングベルト」参照)

7 シリンダーヘッドカバーNo.1, No.2 取り付け

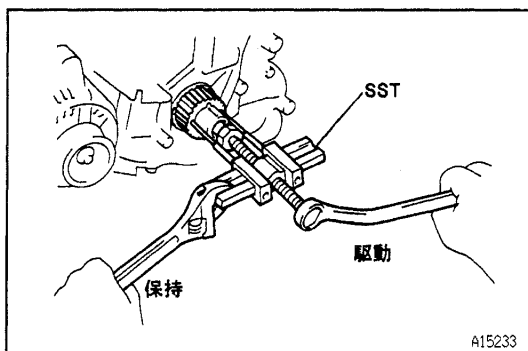
(「エンジン調整」—「バルブクリアランス点検、調整 4」参照)

クランクシャフトフロントオイルシール 脱着作業上の留意点

T0037260

1 タイミングベルト脱着

(「エンジン本体」—「タイミングベルト」参照)



2 クランクシャフトタイミングプーリー取りはずし

(1) タイミングプーリーが手ではずれないときは、クランクシャフトに準備品のボルト (90119-18001: M18×P1.5) を取り付け、SST を使用して取りはずす。

S S T 09951-05010 09952-05010 09953-05020
09954-05010

注意 SST のセンターボルトのねじ部および先端部に油脂類を塗布して使用する。

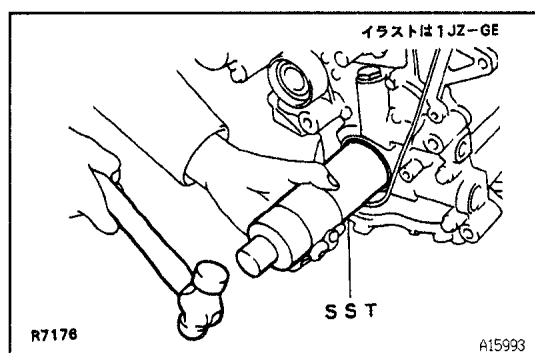
3 クランクシャフトフロントオイルシール取りはずし

(1) 以下の手順で取りはずす。

① カッターナイフでリップ部を切り取る。

② ⊖ドライバーにビニールテープを巻き、オイルシールをこじで取りはずす。

注意 オイルシール取りはずし後、クランクシャフト面取り部に傷がないことを確認する。傷がある場合は、サンドペーパー (#400) で修正する。



4 クランクシャフトフロントオイルシール取り付け

(1) 以下の手順で取り付ける。

- ① 新品のオイルシールを使用する。
- ② オイルシールのリップ部に少量のキャッスル・MP グリース No.2 を塗布する。

注意 リップ部に切粉やゴミなどを付着させない。

- ③ SST を使用して、オイルシールをオイルポンプハウジングに当たるまで打ち込み取り付ける。

SST 09316-00011

注意 ・オイルシールを斜めに打ち込まない。

・クランクシャフトに付着したグリースは拭き取る。

2

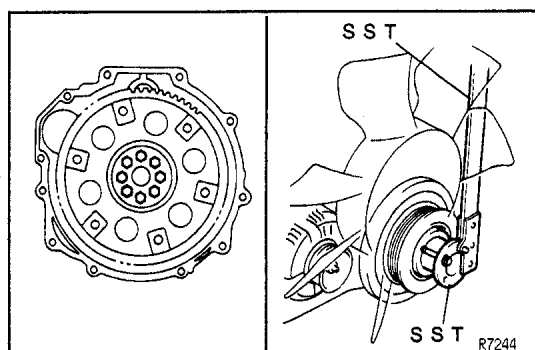
エンジンリヤオイルシール

T0037251

脱着作業上の留意点

1 オートマチックトランスミッション脱着

(『オートマチックトランスミッション』-「トランスミッション ASSY」参照)



2 ドライブプレート脱着

- (1) ドライブプレートの取り付けボルトは、SST を使用して、クランクシャフトを保持した状態で脱着する。

SST 09213-70010 09330-00021 90105-08076

- (2) ドライブプレートの取り付けボルトは、ボルト先端より2〜3ねじ山にアドヘシブ 1324 を塗布して締め付ける。

T=83.4N・m {850kgf・cm}

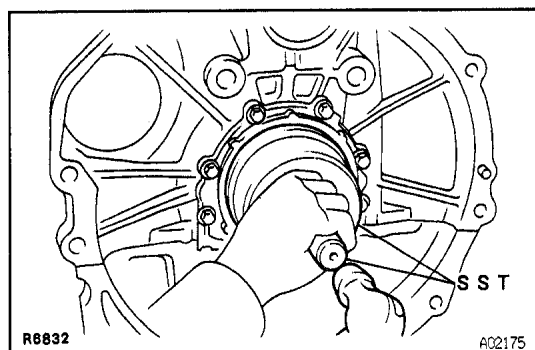
注意 ボルトおよびボルト穴を脱脂する。

3 エンジンリヤオイルシール脱着

- (1) 以下の手順で脱着する。

- ① カッターナイフでリップ部を切り取る。
- ② ⊖ドライバーにビニールテープを巻き、クランクシャフトにウエスを当ててオイルシールをこじて取りはずす。

注意 オイルシール取りはずし後、クランクシャフト面取り部に傷がないことを確認する。傷がある場合は、サンドペーパー(#400)で修正する。



- ③ 新品のオイルシールのリップ部にキャッスル・MP グリース No.2 を塗布する。

注意 リップ部に切粉やゴミなどを付着させない。

- ④ SST を使用してオイルシールを打ち込む。

SST 09223-15030 09951-07100

注意 ・オイルシールを斜めに打ち込まない。

・クランクシャフトに付着したグリースは拭き取る。